LSEG WORKSPACE
システム要件

Microsoft®、Windows®、Apple®、macOS® のいずれかの OS が搭載されている PC および特定のタブレット [1]で LSEG Workspace®を実行するには、以下のシステム要件を満たす必要があります。

重要: インストール中にシステムテスト [2] が実行され、環境が最低限必要なレベルを満たしているかどうかが確認されます。詳細については System Test Guide を参照してください。

デスクトップ要件 [3]

		高リソース	推奨要件	最小要件
プロセッサ [4]	Intel®	Core™ i9 (14 cores)	Core i7 (10 cores)	Core i5 (8 cores)
	AMD	Ryzen™ 9 (12 cores)	Ryzen 7 (8 cores)	Ryzen 5 (4 cores)
	Apple	M1 Ultra	M1 Max	M1
グラフィック プロセシング ユニット		3D GPU アクセラレーションを有効にすることを強く推奨します。 Workspace は Chromium をベースにしており、環境のレンダリングに GPU を使用しています。		
メモリ		24 Gb	シングル スクリーン: 8 Gb マルチ スクリーン [5]: 16 Gb	8 Gb
ハード ディスク		3 GB 以上の空きディスク容量		1 GB 空きディスク容量
画面解像度		1920 x 1080 以上	1920 x 1080	1280 x 1024
仮想デスクトップ インフラ [6]		VDI プラットフォームの性能が最小システム要件を継続的に満たしている場合にサポートされます。		
OS	Windows [7] [8]	Windows 10 以上 (64 ビットのみ)		
	macOS	Mac OS 11 (Big Sur) 以上 [9]		

[1] ワークスペースは、Microsoft Surface® Pro および Apple iPad® で正常に動作することが確認されています。

[2] 現在サポートされている バージョンの Workspace では、インストール前のテストで PowerShell アプリの存在を確認することはなくなりました。これは、最も使用頻度の高い 50 個のアプリではこのアプリケーションを必要としないためです。ただし、よりニッチなアプリケーションを使用している場合は、必要になる場合があります。

[3] Workspace と同時に使用される他の LSEG またはサードパーティのアプリケーションの要件によっては、より高い仕様のハードウェア（CPU、メモリ、GPU）が必要になる場合があります。

[4] 各プロセッサに指定されているコア数（または論理プロセッサ数）は、現在利用可能な各プロセッサの基本モデルのものです。ただし、各メーカーで保守されている同じプロセッサの旧世代を使用して、上記のリソースレベルで Workspace を実行することができます。例えば、上記の Intel Core i5 は第 13 世代のプロセッサです。しかし、ベースとなる第 7 世代の「Kaby Lake」プロセッサ（4 コア）は Intel によって保守されているため、LSEG Workspace の実行に対応しています。

[5] アドバンスト モニタリングでは、複数の画面で異なるアプリケーションを実行します。

[6] LSEG では現在、Citrix® VDI ソリューションに関して限定的なテストサポートと技術的なアドバイスを行っております。ただし VDI ソリューションを導入しているお客様は、Workspace を導入、更新、実行する場合には以下を考慮する必要があります:

- ネットワーク遅延と使用する機器による影響。
- 仮想マシンがエンドユーザーのパフォーマンスに悪影響を与える可能性。

[7] Windows 11 の推奨エディションは Pro と Enterprise です。

[8] wmic (Windows Management Interface Command) ツールは Windows 10 以降に削除することが可能です。ただし現状では Workspace を実行するための要件となっております。この依存関係は今後の Workspace バージョンからは削除される予定です。

[9] OpenFin の Workspace を使用するには macOS 13 (Ventura) 以降が必要です。詳細については OpenFin macOS overview ページを参照してください。

ウェブアクセス要件

	推奨要件	最小要件
表示設定	1920 x 1280	1024 x 768
ウェブ ブラウザー [10] [11]	Workspace ウェブアクセスでは以下のバージョンのブラウザーをサポートしています: Google Chrome™ - Stable チャネル バージョン Microsoft Edge – Stable チャネル バージョン Apple Safari® - Workspace がサポートするバージョンの macOS で動作するブラウザー	

OpenFin

Windows および macOS で実行される OpenFin[12]の Workspace 要件は、このドキュメントの他の部分で説明されている要件とほぼ同じです。ただし、OpenFin は同じような高性能なハードウェア要件を必要としません。

仮想化環境では、OpenFin[13] 上の Workspace を使用してください。

- Citrix Virtual App では検証されていません。
- 使用プロファイルに関わらず、8GB から 16GB の RAM が必要です。
- ユーザー数とプラットフォームの使用プロファイルによって異なります。vCPU 要件に関する推奨事項については、以下の仮想環境要件を参照してください。

さらに、Workspace for OpenFin の 2.11.0.21 リリース以降、以下の OpenFin ランタイムの最小バージョンが必須となります：
- 38.126.82.69

モバイル アクセス

LSEG Workspace iOS および Android アプリはそれぞれのストアからダウンロードしていただけます。各ストアには端末の要件も定義されています:

- iOS
- Android

関連 LSEG 製品の要件

このセクションでは、Workspace の機能を利用または提供する LSEG 製品の要件に関する詳細または関連文書へのリンクを提供します。

Microsoft Office アドイン

LSEG データやツールへのアクセスは、個別にインストールされた以下のアドインのいずれかを介して提供されます。これらのツールは、特定の Microsoft アプリケーションで追加のメニューリボンを提供します:

- **Workspace**

  このアドインは包括的な機能を備えたコア製品で、ほとんどのユーザーに推奨されます。

- **Workspace Lite**

  このアドインは基本的な機能を提供します。機能的な制限があるため、通常 macOS やウェブ ブラウザーでの環境に推奨されます。

---

[10] Workspace は上記ブラウザーの他のリリースでも動作する場合がありますが、すべての機能を使用できない可能性があります。

[11] Windows OS または macOS のプラットフォームで動作します。タブレット機器は現在サポートされていません。

[12] Workspace (OpenFin 技術を採用) は、現在パイロット段階にあります。この製品および開発ロードマップの詳細については、担当のアカウントチームにお問い合わせください。

[13] OpenFin のシステム要件に関する情報については、OpenFin developer site の VDI Deployment.を参照してください。

関連情報:

- Microsoft Office バージョンの要件とブラウザーの互換性、サポートするツールの比較については Workspace アドイン – システム要件を参照してください。
- 必要なアドインの前提条件、インストール、デプロイメントの手順については以下を参照してください:
  - Workspace アドイン – Workspace Lite インストール ガイドまたは
  - Workspace アドイン – Workspace インストールガイド

リアルタイム製品バージョンの互換性

LSEG Workspace では、以下のリアルタイム製品のバージョンが推奨されます。

製品	推奨	サポート
Real-Time Distribution System – Real-Time Advanced Distribution Server[14] – Real-Time Advanced Distribution Hub	3.8[15]	3.6 および 3.7[16]
LSEG Real-Time Data Access Control System (旧 DACS)	7.7 以降 [17]	

仮想化環境の要件

LSEG では以下の仮想化環境における Workspace の使用を検証しております。

- Citrix – Virtual Apps™, Virtual Desktops™
- VMWare – Horizon®
- Microsoft Azure® Virtual Desktop (AVD)

一般要件とプロバイダー固有の要件については、次のセクションでまとめています。

一般要件

	推奨要件	最小要件
vCPUs (ユーザー毎)[18]	6	4

Citrix

表には以下が含まれます:

- LSEG がテストした一般的な CVAD の組合せ
- 各環境に特定の要件:

LTSR バージョン	7.15	CVAD 7 1912	CVAD 7 2203
累積更新	9	7	3

Virtual App (XenApp®)

Windows Server バージョン	• 2016 Datacenter • 2016 Standard	• 2019 Datacenter • 2019 Standard • 2022	• 2019 Datacenter • 2019 Standard • 2022

Virtual Desktop (XenDesktop®)

Hypervisor	VMWare ESXi 6.7	VMWare ESXi 6.7	VMWare ESXi 6.7

---

[14] バージョン 3.8 で提供される Real-Time Advanced Distribution Server の暗号化機能に関する追加情報については、Installation and Configuration Guide の「Local connection security parameters」セクションを参照してください。

[15] Real-Time Data Access Control System の Perm Sync 機能には、少なくとも Real-Time Distribution System version 3.8.1 が必要です。Perm Sync の詳細については、MyAccount の DACS section 内の DACS Permission Synchronization Configuration Guide を参照してください。

[16] RWF データにはバージョン 3.7 以降が必要です。

[17] 2025 年 2 月 1 日に導入される Real-Time Data Access Control System に関する新たな rolling obsolescence plan に準拠します。

[18] 1 ユーザー毎に最低 2 つの論理プロセッサが必要です。パワーユーザーやマルチスクリーンユーザーは、1 ユーザー毎により多くの論理プロセッサを必要とします。

VMware Horizon

VMware Horizon バージョン 8 での Workspace の実行は、以下の構成で正常にテストされています:

	アプリケーション / サービス	バージョン
VMWare	Horizon Connection Server	• 2203
	Horizon Agent	• 2203
	Horizon Client	• 2203 • 2212.1
	Blast (display protocol)	
Microsoft	Windows	• 10 • 11
	Windows Server	• 2016 • 2019 • 2022

Transport Layer Security

Workspace ユーザーがリアルタイムサービスに引き続きアクセスするには、インターネット セキュリティ設定で［**TLS 1.2** を使用する］を有効にする必要があります。

詳細については PCN205244-Change in supported TLS protocols for Eikon and Workspace を参照してください。

データ転送

以下の表の数値は、アクティビティの多い時間帯に既定の Workspace インストールでホームページを実行するための最小推奨帯域幅を示しています。

	Workspace デスクトップ	Workspace ウェブ
Asset Portfolio Management	175 kb/s	100 kb/s
Foreign Exchange (FX)		75 kb/s
Investment Banking		85 kb/s
Trading		100 kb/s
Wealth Management		85 kb/s

Workspace について

Workspace の詳細については、LSEG Workspace サイトをご覧ください。Documentation セクションでは他のテクニカル文書が掲載されています。

Legal Information

© 2025 LSEG. All rights reserved.

LSEG は、本書を発行するにあたり、本書に記載される情報が、現在または将来においても正確であること、或いは当該情報を使用することにより、関連サービス又は機器が正しく、誤りなく稼動することを、保証するものではありません。LSEG、その代理人、及びその従業員も、本書に記載される情報に依拠したことから発生する如何なる損失又は損害に関し、如何なるユーザーに対しても又は如何なるユーザーを介しても、何らの責任も負わないものとします。

本書は、LSEG の機密・専有情報を含みます。LSEG の書面による明示的な承認がない限り、一部又は全部の如何を問わず、本書を再発行・再配信、開示又は使用することは禁止されています。

如何なるソフトウェア（そのコード、スクリーン、ストラクチャー、セキュエンス、系統を含むがそれらに限定されない）及びドキュメンテーションは、各国の著作権法及び国際条約の条項により保護されています。本書は、お客様及び LSEG 間で存在する契約書において規定される、両当事者間の法的義務、責任又は関係を修正・変更するものではなく、また修正・変更を意図するものでもありません。